

## 平成 23 年度事業報告

### 公益目的事業1(「創造する伝統賞」の主催)

(定款第 4 条第 1 項第 2 項)

#### ■ 助成顕彰事業 (第 18 回)

平成 24 年 1 月 18 日の理事会の審議を経て 3 名に授与した。

「第 3 回創造する伝統賞」 賞金各 100 万円

- 岡田 修二 (52 歳) 画家
- 菅野 由弘 (58 歳) 作曲家
- 藤間勘十郎 (31 歳) 日本舞踊宗家藤間流八世宗家

#### (1) 対象

日本の伝統文化及び現代藝術の広い分野を対象とする。国籍不問。

#### (2) 募集応募概況

発 送 先 : 美術館、博物館、新聞社、大学、大使館、海外日本文化研究機関、画廊  
出版社 (専門誌)、評論家、本財団「文化藝術の会」会員、本財団関係  
者、これまでの受賞関係者、資料請求者

発 送 数 : 1,150 件

告 知 : 当財団ホームページ、邦楽ジャーナル

応募総数 : 一般公募 27 名、推薦応募 7 名

#### (3) 選考委員会

開催日時:平成 23 年 12 月 25 日(日) 15:30~18:00

開催場所:公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出 席 者:葛西聖司委員、金子賢治委員、丹下憲孝委員、茂手木潔子委員

欠 席 者:建畠哲委員 (選考意見書類提出)

事 務 局:寺脇研事務局長、北村誠代表理事、野呂芙美子業務執行理事、事務局員

選考方法:事前に選考委員に応募者の資料を送付し、閲覧を依頼した。

選考委員会当日は、応募者から提出された資料(DVD、CD、ポートフォリオ、論文、カタログ、パンフレット、著書、掲載誌等)を視聴及び回覧し、各委員より意見を出し、選出候補者を絞り込み、審議の後多数決により出席委員全員の同意のもと、授与候補者 3 名を選出した。

#### (4) 理事会の決議

平成 24 年 1 月 18 日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された 3 名に「創造する伝統賞」授与を決議した。

#### (5) 授賞式典の開催

開催日時:平成 24 年 3 月 30 日(金) 15:30~16:00

開催場所:明治記念館(曙の間/末広の間)

出 席 者:[受賞者] 岡田修二氏、菅野由弘氏、藤間勘十郎氏

[選考委員] 金子賢治委員、茂手木潔子委員、葛西聖司委員、丹下憲孝委員

[役員] 徳山豊代表理事、北村誠代表理事、小椋秀樹業務執行理事、野呂芙美子業務執行理事、大野木啓人理事、脇田直枝理事、安孫子正評議員、細川佳代子評議員、渡辺豊和評議員、寺脇研事務局長、事務局員

[来賓]文化庁文化課長舟橋徹様

内容:代表理事の挨拶、賞状・賞金目録の授与、選考委員からの選評、受賞者紹介、記念撮影、受賞者との懇談

(6) 賞金の授与

平成 24 年 4 月 25 日、本人名義の口座に振込にて授与

(7) 受賞者の紹介

本財団ホームページ

※受賞者紹介の小冊子作成し配付予定(6月中旬刷上がり)

公益目的事業2(芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付)  
(定款 第4条 第3項)

■育英事業(第16回)

平成 23 年 4 月 1 月に、平成 23 年度育英事業の募集を行い、平成 23 年 5 月 25 日に選考委員会を開催。平成 23 年 6 月 3 日の理事会の審議を経て、6 名に奨学金を給付した。

奨学金給付大学生 2 名 奨学金 各 30 万円

- 多摩美術大学 美術学部 油画 4 年  
ケティン グ ナイル 翔 (21 歳)
- 筑波大学 芸術専門学群 洋画 4 年  
清水 総治 (27 歳)

奨学金給付大学院生 4 名 奨学金 各 50 万円

- 広島市立大学大学院 美術学研究科 博士後期課程 彫刻 2 年  
黒田 大祐 (28 歳)
- 東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 染織 1 年  
石井 亨 (29 歳)
- 武蔵野美術大学大学院 造形研究科 博士後期課程 彫刻 2 年  
井口 雄介 (26 歳)
- 東京藝術大学大学院 美術研究科博士後期課程 油画 1 年  
管 亮平 (27 歳)

(1) 対象者

国内の芸術系大学の 3 年生・4 年生または大学院に在学し、絵画・彫刻・工芸・建築(造園を含む)・デザイン(グラフィックデザイン及び工業デザインのみ)の実技部門を専門としている学生

(2) 募集概況

募集 : 大学生 2~4 名 奨学金 1 年間 30 万円の給付

大学院生 2~4 名 奨学金 1 年間 50 万円の給付

募集期間 : 平成 23 年 5 月 6 日~平成 23 年 5 月 13 日

申請書類 : ①奨学生願書 ②推薦書 ③成績証明書 ④在学証明書

|       |      |                 |
|-------|------|-----------------|
| 応募状況： | 大学生  | 38名             |
|       | 大学院生 | 72名（修士63名、博士9名） |
|       | 合 計  | 110名（+9名）       |

#### 応募状況

- ・本年度は昨年度に比べ9名の応募者増であった。経済情勢の影響が大きく関わっていると思われ、今後も増加傾向になると推測される。
- ・留学生の応募者が激減した。
- ・大学院生の応募者が大学生の約2倍となり、応募者数の差が広がっている。
- ・受付期間外での応募が4件（いずれも大学院）あったが、対象外とした。
- ・平成23年度は22年度の公益目的事業財産より、奨学金分として80万円をあて、給付者を2名増加した。

#### (3) 選考委員会

開催日時:平成23年5月25日(水) 13:30~15:30

開催場所:公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出席者:久谷政樹委員長、井上隆邦委員、野呂芙美子委員、宮本武典委員、徳山豊委員

事務局:寺脇事務局長、事務局員

- 選考資料
- ・応募書類一式
  - ・学校別応募人数
  - ・学校別応募人数の変化(17-23年度)
  - ・学校別これまでの受給者
  - ・受給者名簿
  - ・送付先大学一覧
  - ・応募者一覧

#### ○選考方法

【大学生】事前審査により候補者を数名ずつ選出し、本審査にて各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げた上で、再び審査を行い、最終投票により過半数を超えた上位2名を候補者として選出した。

【大学院生】事前審査により候補者を数名ずつ選出し、本審査にて各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げた上で、再び審査を行い、投票により過半数を超えた1名をまず選出した。再度審査の上、3名に絞り、計4名を候補者として選出した。

#### (4) 理事会の決議

平成23年6月3日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された6名に奨学金授与を決議した。

#### (5) 奨学金給付

平成23年6月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付

平成23年10月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

公益目的事業 3(自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、及び実施事業の記録)

(定款第4条第4項第5項第6項)

## ■文化芸術普及活動事業

### ◆「創造する伝統 杜の中の文化祭」

#### ○「創造する伝統 杜の中の文化祭 親子で“日本の匠の技”を体験」

開催日:平成23年5月15日(日) 10:00~17:00

会場:京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

主催:公益財団法人日本文化芸術財団

助成:全日本社会貢献団体機構

後援:京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

協力:茶道裏千家、東京伝統木版画工芸協同組合、NPO 法人日本剪画協会

来場者:約500名

入場料:無料(ただし風鈴絵付けとあめ細工は実費徴収)

内容:

- ・「こどもの杜」～日本の伝統を経験しよう～  
江戸風鈴の絵付け、江戸木版画の摺りの実演と体験、江戸糸操り人形、あめ細工、日本のお茶を楽しんでみよう、杜の手作り広場
- ・「体験の杜」  
お茶を点ててみよう、剪画(切り絵)でミニうちわを創ってみよう、日本の香りを聞いてみよう
- ・「創造する伝統賞 受賞者紹介」

#### ○「創造する伝統 杜のコンサート～もうすぐ春～」

開催日:平成24年2月19日(日) 14:00~16:00

会場:明治神宮 参集殿

主催:公益財団法人日本文化芸術財団

助成:全日本社会貢献団体機構

後援:京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

特別協力:明治神宮

出演:藤舎流家元 藤舎呂船社中

参加者:250名

参加費:一般3,000円、学生:1,000

プログラム:

- ・メドレー「もうすぐ春」
- ・特別対談 藤舎呂船・葛西聖司
- ・ワークショップ
- ・「猩々」

#### ○「こども芸術の家プロジェクト」

主催:東北芸術工科大学+京都造形芸術大学

協力:日本文化芸術財団

事務局:東北復興支援機構(TRSO)

※東北芸術工科大学「やまがた芸術学舎」内に、東日本大震災後において芸術とデザインの力によって被災地への復興支援を継続的に行うことを目的に2011年5月に設置され、東北芸術工科大学および山形大学の学生・卒業生が中心となり活動を行っている。

活動内容:

- ・日帰りボランティアバス「スマイルエンジン山形」の支援
- ・震災直後から被災地の等身大の若者取材したダイアログ『3.11After』

Report—あのと時僕らは』の展示

- ・ 山形県出身の絵本作家・荒井良二氏の協力のもと宮城県沿岸部地域の人々と復興の旗を作り上げるワークショップ「荒井良二とふらっぐしっぷ」の実施
- ・ 目に見えない放射能と戦っている南相馬市内の子どもたちや家族を夏期休暇中に招き、山形での体験学習を行う「キッズ・アート・キャンプ山形」の実施
- ・ 福島県から自主避難している家族を対象としたワークショップ「福しまピクニック／福しま凶案室」の実施

○「茶論 四季おりおり」～茶と香を愉しむ～

開催日:平成 24 年 3 月 22 日(木) 13:00～16:00

会 場:目白庭園 赤鳥庵

主 催:公益財団法人日本文化藝術財団

助 成:全日本社会貢献団体機構

講 師:聞香箒門会宗匠 伊達晟聴氏

参加者:15 名

参加費:無料

内容:

- ・ 聞香体験
- ・ 茶道体験

○ ブログ「四季おりおり ～わらべうたの旅～」

期 間:平成 23 年 9 月 1 日より平成 24 年 3 月 15 日

更 新:毎月 2 回(1 日、15 日) 全 12 回更新

テーマ:伝承されてきた「わらべ歌」より日本文化、日本の心を探る

文 章:聞香箒門会宗匠 伊達晟聴氏

アクセス数:10,952 ページビュー

URL : <http://blog.canpan.info/shikioriori>

◆ 協力事業

○ GTF グリーンチャレンジのつどい

開催日:平成 23 年 8 月 20 日(土)、21 日(日) 10:00～17:00

主 催:グレーター東京フェスティバル実行委員会

会 場:新宿御苑 イギリス式風景庭園・フランス式整形庭園

共 催:環境省、新宿区

参加者:100 名(イベント入場者 9000 名)

協力内容:いのちと暮らしを支える生物多様性というテーマに即し、日本の夏を涼しく過ごす工夫ということに着眼し、江戸風鈴の絵付けを実施、葎簾、水まき、風鈴の音で涼しさを演出した。

◆ その他

○ これまで実施した「音楽のきずな」の冊子作成

○ ホームページでの告知、情報公開